

○日本冷凍食品協会 (目標:CO2排出原単位 平成2年度を基準年とし、10%削減)

	1990(平成2)	2000(平成12)	2001(平成13)	2002(平成14)	2003(平成15)	2004(平成16)	2005(平成17)	2010(平成22)
実績・目標								
CO2排出量	482,722	705,075				706,863		
CO2排出原単位	t-CO2	0.471	0.469			0.483		0.424
エネルギー消費量	160,992	233,756				234,876		
エネルギー消費原単位	kl/t	0.157	0.155			0.154		
CO2排出量	1,000	1,464				1,464		
CO2排出原単位	1,000	0.985				0.984		0.900
エネルギー消費量	1,000	1,452				1,459		
エネルギー消費原単位	1,000	0.987				0.980		

○全国マヨネーズ・ドレッシング協会 (目標:CO2排出原単位 平成2年度を基準年とし、約30%削減)

	1990(平成2)	2000(平成12)	2001(平成13)	2002(平成14)	2003(平成15)	2004(平成16)	2005(平成17)	2010(平成22)
実績・目標								
CO2排出量	36,321	47,776	47,899			47,899		49,474
CO2排出原単位	t-CO2/t	0.125	0.122			0.120		0.121
エネルギー消費量	11,608	25,181	25,378			25,416		
エネルギー消費原単位	kl/t	0.040	0.064	0.064		0.062		
CO2排出量	1,000	1,315	1,319			1,382		
CO2排出原単位	1,000	0.978	0.983			0.974		0.700
エネルギー消費量	1,000	2,170	2,187			2,190		
エネルギー消費原単位	1,000	1.613	1.597			1.586		

○日本即席食品工業協会 (目標:CO2排出原単位 平成2年度を基準年とし、平成20～24年度平均で6%削減)

	1990(平成2)	2000(平成12)	2001(平成13)	2002(平成14)	2003(平成15)	2004(平成16)	2005(平成17)	2010(平成22)
実績・目標								
CO2排出量	167,872	188,663	193,324	201,044	202,788	216,639	208,359	
CO2排出原単位	t-CO2/t	0.570	0.494	0.490	0.503	0.487	0.484	0.432
エネルギー消費量	83,905	96,072	88,135	92,005	94,646	90,340		0.535
エネルギー消費原単位	kl/t	0.220	0.218	0.221	0.203	0.203	0.198	
CO2排出量	1,000	1,124	1,152	1,198	1,208	1,291	1,229	
CO2排出原単位	1,000	0.868	0.860	0.884	0.855	0.814	0.759	0.940
エネルギー消費量								
エネルギー消費原単位								

○日本植物油脂協会 (目標:CO2排出原単位 平成2年度を基準年とし、15%以上削減)

	1990(平成2)	2000(平成12)	2001(平成13)	2002(平成14)	2003(平成15)	2004(平成16)	2005(平成17)	2010(平成22)
実績・目標								
CO2排出量	674,577	679,686	686,934	663,926	639,014	633,352		
CO2排出原単位	t-CO2/t	0.303	0.302	0.312	0.304	0.300		0.285
エネルギー消費量	277,959	302,131	304,616	294,111	281,930	280,025		
エネルギー消費原単位	kl/t	0.143	0.135	0.134	0.138	0.134		0.133
CO2排出量	1,000	1,008	1,018	0.984	0.947	0.899		
CO2排出原単位	1,000	0.873	0.871	0.887	0.874	0.863		0.850
エネルギー消費量	1,000	1,087	1,096	1,058	1,015	1,008		
エネルギー消費原単位	1,000	0.942	0.937	0.965	0.937	0.927		

○日本ハム・ソーセージ工業協会 (目標:CO2排出原単位 平成18年度を基準年とし、年率1%削減)

	1990(平成2)	2000(平成12)	2001(平成13)	2002(平成14)	2003(平成15)	2004(平成16)	2005(平成17)	2010(平成22)
実績・目標								
CO2排出量								
CO2排出原単位	t-CO2							951
エネルギー消費量	t-CO2/10億円							951
エネルギー消費原単位	kl/10億円							541
CO2排出量								
CO2排出原単位								0.989
エネルギー消費量								0.990
エネルギー消費原単位								0.988
エネルギー消費原単位								0.990

3. エネルギー消費量を削減目標とする団体(1団体)

○日本加工食品卸協会 (目標:エネルギー消費量 平成2年度を基準年とし、10%削減)

※下表の数値は参考である。

	1990(平成2)	2000(平成12)	2001(平成13)	2002(平成14)	2003(平成15)	2004(平成16)	2005(平成17)	2010(平成22)
実績・目標								
CO2排出量		8,588	12,958	13,761	21,588	23,917	25,917	
CO2排出原単位	t-CO2/億円	1,354	1,916	1,945	2,973	3,267	3,485	
エネルギー消費量	kl	5,676	8,684	8,696	12,810	14,574	15,718	5,108
エネルギー消費原単位	kl/億円	0.895	1,284	1,229	1,764	2,004	2,119	
CO2排出量		1,000	1,509	1,602	2,514	2,785	3,018	
CO2排出原単位		1,000	1,416	1,437	2,195	2,413	2,582	
エネルギー消費量		1,000	1,530	1,532	2,257	2,585	2,769	0,900
エネルギー消費原単位		1,000	1,435	1,374	1,972	2,240	2,369	

4. エネルギー消費原単位を削減目標とする団体(4団体)

○日本乳業協会 (目標:エネルギー消費原単位 平成12年度を基準年とし、年率0.5%削減)

	1990(平成2)	2000(平成12)	2001(平成13)	2002(平成14)	2003(平成15)	2004(平成16)	2005(平成17)	2010(平成22)
実績・目標								
CO2排出量	千t-CO2	857	1,026	1,038	1,080	1,132	1,115	1,093
CO2排出原単位	t-CO2/千t	190,402	189,959	192,009	203,620	205,110	200,576	201,215
エネルギー消費量	千kl	402	500	508	511	522	518	504
エネルギー消費原単位	kl/千t	89,313	92,524	93,970	96,342	94,582	93,182	92,784
CO2排出量		1,000	1,012	1,053	1,103	1,087	1,065	
CO2排出原単位		1,000	1,011	1,072	1,080	1,058	1,050	
エネルギー消費量		1,000	1,016	1,022	1,044	1,036	1,008	
エネルギー消費原単位		1,000	1,016	1,041	1,022	1,007	1,003	0,951

○日本缶詰協会 (目標:エネルギー消費原単位 平成2年度を基準年とし、これを上回らない)

	1990(平成2)	2000(平成12)	2001(平成13)	2002(平成14)	2003(平成15)	2004(平成16)	2005(平成17)	2010(平成22)
実績・目標								
CO2排出量	77,710	82,328	83,973	87,710	87,405	88,520	86,145	
CO2排出原単位	t-CO2/t	0.266	0.262	0.261	0.267	0.269	0.263	
エネルギー消費量	31,000	37,772	38,453	39,927	39,856	40,522	39,443	
エネルギー消費原単位	kl/t	0.106	0.120	0.119	0.122	0.123	0.120	0.106
CO2排出量		1,000	1,059	1,081	1,125	1,139	1,109	
CO2排出原単位		1,000	0.963	0.980	0.981	1,009	0.986	
エネルギー消費量		1,000	1,218	1,240	1,288	1,286	1,307	1,272
エネルギー消費原単位		1,000	1,131	1,119	1,147	1,158	1,132	1,000

○日本ハム・ソーセージ工業協会 (目標:エネルギー消費原単位 平成15年度を基準年とし、概ね5%削減)

	1990(平成2)	2000(平成12)	2001(平成13)	2002(平成14)	2003(平成15)	2004(平成16)	2005(平成17)	2010(平成22)
実績・目標								
CO2排出量	392,776				372,158	388,853	371,277	
CO2排出原単位	t-CO2/t	0.748			0.759	0.768	0.751	
エネルギー消費量	192,789				178,238	189,314	189,999	
エネルギー消費原単位	kl/t	0.367			0.363	0.376	0.384	0.345
CO2排出量					1,000	1,039	0.998	
CO2排出原単位					1,000	1,012	0.990	
エネルギー消費量					1,000	1,062	1,066	
エネルギー消費原単位					1,000	1,035	1,058	0,950

5. その他(1団体)

○日本フードサービス協会 (目標:店舗等における効率的な省エネの推進等)

	1990(平成2)	2000(平成12)	2001(平成13)	2002(平成14)	2003(平成15)	2004(平成16)	2005(平成17)	2010(平成22)
実績・目標								
CO2排出量		811,440	828,000	844,560	842,026	823,501	816,913	
CO2排出原単位	t-CO2/t							
エネルギー消費量	kl							
エネルギー消費原単位	kl/t		1,000	1,020	1,041	1,038	1,015	1,007
CO2排出量								
CO2排出原単位								
エネルギー消費量								
エネルギー消費原単位								

(注)数値目標はないもの、2000(平成12)年を1として指数化した。

(参考資料)

C O 2 排出抑制対策に係る具体的事例

本事例は、C O 2 排出抑制に資する対策として、各団体から提出があったものを同業他社及び異業種への参考として提示するものである。

団体名：精糖工業会

対策の実施者及びその概要	① A 社(精製糖工場) ② B 社(精製糖工場) ③ C 社(精製糖工場) ④ D 社(精製糖工場) ⑤ E 社(精製糖工場)
対策の具体的内容	① 新たに結晶化前の予備濃縮用に効用缶を導入した。 ② 3, 4 番台製品分離機のモーターをインバーター化し、省電力を図った。 ③ 精製糖液であるフラインリカーの濃縮用(結晶化前の予備濃縮用)に濃縮設備を導入した。 ④ 炉筒煙管式ボイラー(7.2トン/時×1基)を多管式小型連流ボイラー(2トン/時×3基)に更新した。 ⑤ ボイラーの設備を改善し、燃焼効率を上げた。
対策の具体的効果	① 原油換算で、年間 313Kl の燃料削減効果となった。 ② 年間 198, 000kWh の省電力となった。これは、原油換算で年間 18. 39Kl の燃料削減効果に相当する。 ③ 原油換算で、年間 1, 950Kl の燃料削減効果となった。 ④ A 重油換算で、一日約 400l (年間 100～120Kl) の燃料削減効果となった。 ⑤ 原油換算で、年間 480Kl の燃料削減効果となった。